

## 要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : 7-メチル-1,6-オクタジエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に  
対する繁殖阻害試験

試 験 番 号 : A 0 2 0 3 7 4 - 3

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式(毎日試験液の全量を交換)  
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 21日間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区, 0.0700, 0.125, 0.220, 0.390, 0.700 mg/L  
(設定値) 試験液調製可能最高濃度  
(公比: 1.8)  
助剤濃度一定: 100  $\mu$ L/L (ジメチルホルムアミド使用)
- 6) 試 験 液 量 : 80 mL/容器
- 7) 連 数 : 10容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 $\pm$ 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : ガスクロマトグラフィー質量分析 (GC/MS)

## 試 験 結 果 :

### 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、調製時において 62～108%、換水前において 21～52%であった。水中からの 50%揮散速度は約 7 時間であることから、減少の主な原因は、揮散と考えられた。

### 2) 21日間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
親ミジンコの半数致死濃度 (LC50)	> 0.504	算出不可
50%繁殖阻害濃度 (EC50)	> 0.504	算出不可
最大無作用濃度 (NOEC)	0.238	—
最小作用濃度 (LOEC)	0.504	—